

シリーズ・これからの産消提携を考える

70年代の初め、高度経済成長の「つけ」ともいえるべき、農薬や食品添加物などによる人や動物、また環境への汚染が明らかになってきました。何の疑いもなく便利さにたよっていた私たちは改めて生活の見直しをせまられ、特に食べ物は子どもをはじめとして深刻な問題となりました。それらの解決の一つとして、生産者と消費者が顔の見える関係で提携をし、有機農産物によってお互いに命の預けあいを続けてきました。

あれからほぼ40年、有機農産物がスーパーに並び、提携も多様化する中で、今後の在り方を模索している最中に、恐れていた原発事故が起こり、今、放射能の拡散はこれらの努力を根こそぎゆるがしています。生産者も消費者も共に生きていくためにはどうすればいいのでしょうか。いろんな事例を聞きながら共に考えていきたいと思えます。多数のご参加をお待ちしています。

① 「震災から提携を問う」

9月26日(水) 午前10時30分~12時

星 寛治さん

② 「台所からの世直し」

~安全な食べ物をつくって食べる会と三芳村生産グループの提携から~

10月24日(水) 午前10時30分~12時

若島 礼子さん

③ 「こだわり生協の現状と有機農業」

~コープ自然派事業連合~

11月28日(水) 午前10時30分~12時

生活協同組合連合会 コープ自然派事業連合理事長 小泉 佳久さん

④ 「産消提携の運動と流通を考える」

~使い捨て時代を考える会~

12月19日(水) 午前10時30分~12時

使い捨て時代を考える会 安全農産供給センター 役員専従 植村 雅人さん

⑤ 「これからの産消提携」

2013年1月23日(水) 午前10時30分~12時

神戸大学名誉教授 保田 茂さん

●会場：神戸学生青年センターホール TEL 078-851-2760
(阪急六甲下車徒歩3分、JR六甲道下車徒歩10分)

●参加費：600円

※託児(無料)があります。必要な方は前々日までに予約してください。

●主催：神戸学生青年センター TEL 078-851-2760 FAX 078-821-5878
〒657-0064 神戸市灘区山田町3-1-1
ホームページ <http://ksyc.jp> e-mail info@ksyc.jp

